

# 町内全ての幼稚園が長い歴史に幕

三沢幼稚園閉園式(3月23日)

三沢幼稚園は、昭和32年に三沢小学校理科室を使用して発足し、その翌年に新園舎が完成しました。昭和49年、狭小により旧三沢中学校校舎を改築して移転。平成3年に現在の園舎が竣工しました。園児数の減少により平成25年4月から休園となりましたが、56年間で734人の児童が巣立ちました。

育活動に対する感謝の言葉を述べました。4月からは、三沢幼稚園として新たにスタートします。

式では松浦副町長が「三沢のシンボルである要害山や三沢川など、自然を生かしたふるさと教育に積極的に取り組んできた。地域の方々の協力により、子どもたちが温もりを感じながら活動できたことに感謝します」とこれまでの教



▲閉園式の様子

三成功幼稚園閉園式(3月25日)

三成功幼稚園は、昭和32年2月に三沢小学校の2つの教室を転用して開設され1年保育を開始しました。同年12月に校庭の一部に独立した園舎が竣工し、平成2年に現在地に新園舎が建設されました。園児数の減少により平成24年度は休園となりましたが、翌年度から再開となり、閉園までの59年間で2255人の児童を送り出しました。

和久利紀子園長が「地域の方々に温かく見守られながら幼児教育ができたことはとても幸せであり、これまで支えてくださった全ての方々に心から感謝している」とお礼の言葉を述べ、6人の園児がお別れの歌を合唱。最後となる園児



▲お別れの歌を歌う園児たち

## 有事に備えて消防車両と簡易テントを整備

老朽化した消防車両を更新し、安全・迅速な消防活動を実施するため、町から消防団に小型動力ポンプ付普通積載車1台、同軽積載車3台が交付され、八川分団第3部、三成分団第5部、阿井分団第6部、三沢分団第3部にそれぞれ配備されました。また、有事の際の避難所生活のために、簡易間切り35張、簡易テント5張を整備しました。



▲整備した簡易テントと簡易間切り

## 町内の中学校前に防犯カメラ設置



▲設置された防犯カメラ(仁多中学校前)

奥出雲町建設業協会から、町へ防犯カメラ2基が寄贈され、仁多中学校駐輪場前と横田中学校校門前にそれぞれ設置されました。これにより、町内の防犯カメラの設置は7基となり、地域の防犯カメラの設置は7基となり、地域住民や観光客の安全と犯罪防止に役立てられます。

## 三成小学校子ども消防クラブ

### 優良な少年消防クラブ(消防庁長官賞)表彰を受賞

三成小学校子ども消防クラブが優良な少年消防クラブ(消防庁長官賞)として表彰されました。

同クラブは、日頃から「自分の命は自分で守る」を意識した行動に努め、避難訓練や消火訓練にも積極的に取り組んでいます。1学期の避難訓練では、昭和20年4月18日の「三成大火の日」を経験した方から、当時の様子や火災の恐ろしさを学び、防火意識を高めました。

また、地域の消防団活動も活発で家庭においても防火・防災に関するコミュニケーションが図られ、消防クラブ・消防団が連携して地域の防火・防災意識を高めていることが評価されました。



▲立石典夫前校長(左)と堀江龍馬さん(右)

## 奥出雲産直振興推進協議会

### 『「日本農業賞」食の架け橋の部』で大賞受賞



▲(左から)仁多特産市出荷協議会の藤原和子会長、よこただんだん市場出荷協議会の高橋正知会長、勝田町長、奥出雲産直振興推進協議会の井上会長

奥出雲産直振興推進協議会(井上静子会長:木次町出身)が、JA全中やNHKなどが主催する『日本農業賞』の「食の架け橋の部」で大賞を受賞されました。

奥出雲産直振興推進協議会は、雲南市・飯南町・奥出雲町の生産者組織・直売所などでつくられる組織で、平成13年に結成され、現在の会員数は全国最大規模の約3,000人。高齢農家の生産する安全・安心な新鮮野菜をネットワーク化した地域の直売所で販売したり、関西圏のスーパーで直売所を開催して都会の消費者に提供する「地産都商」という新しい仕組みを構築し、中山間地域の農家にやる気と生きがいを与え、地域農業を活性化させているモデルとして高く評価されました。

## ～新たなる旅立ち～ 島根デザイン専門学校卒業式

3月24日、島根デザイン専門学校の卒業式が行われ、ビジュアルデザイン科の3人の卒業生が、数々の作品を生み出した学舎を後にしました。

式では、青木和幸校長から一人ひとりに卒業証書が手渡され、卒業生との思い出を振り返りながら「様々な課題に意欲的に取り組み、素晴らしい作品を数多く残した最高の卒業生。これからの人生も美しくデザインしてほしい」とはなむけの言葉を贈りました。

また、卒業生を代表して下山嘉真さんが「学園祭や海外研修、作品作りなど少ない人数で大変だったが、仲間や先生などたくさんの方に支えられ卒業を迎えることができました。これから辛いことがあっても、学校で過ごした日々を思い出し、自分の足でしっかり歩いていきたい」と感謝と決意が述べました。

卒業生の新天地での活躍が期待されます。



▲3人の卒業生が巣立ちました